

学習指導要領の改訂

新学習指導要領において、プログラミング教育及びICTを活用した学習活動を充実

- 小・中・高校を通じて、情報活用能力を言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けて育成
- 情報活用能力を育成するためプログラミング教育を充実。とりわけ小学校でプログラミング教育を必修化
 - ・小学校においては、プログラミング教育を必修化（2020年度～）
算数、理科、総合的な学習の時間など各教科等において、プログラミングを体験しながらコンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動を計画的に実施。
 - ・中学校においては、技術・家庭科（技術分野）においてプログラミングに関する内容を拡充（2021年度～）
 - ・高等学校においては、情報科において共通必修科目「情報Ⅰ」を新設、全ての生徒がプログラミングのほか、ネットワーク（情報セキュリティを含む）やデータベースの基礎等について学習（2022年度～）
- 情報活用能力の育成を図るため、学校のICT環境整備とICTを活用した学習活動の充実に配慮

小学校プログラミング教育の円滑な実施に向けた取組

- 「小学校プログラミング教育の手引（第一版）」（平成30年3月公表）
 - ・教師が抱えている不安を解消し、安心して取り組めるようまとめたもの
 - ・小学校プログラミング教育のねらい等をわかりやすく明示
 - ・初めてプログラミング教育に取り組む教師でも、無理なく取り組めるような具体的な教科等での指導例（9例）を掲載
- 小学校プログラミング教育支援推進事業（平成30年度予算事業）
 - ① 全国の小学校において参考となる、新学習指導要領の趣旨を踏まえたプログラミング教育の指導事例（GP）の創出と普及
 - ② 各小学校の校内研修において活用できるわかりやすい教員研修用教材（映像教材やeラーニング教材）の開発・提供や、地域の研修リーダーとなる教員等を対象としたセミナーの実施

各教育委員会や学校においては、本手引を参照いただき、2020年度からの全面実施に向けて、計画的に準備していただくことが必要。

学校のICT環境整備

- 新学習指導要領の実施を見据え、学校において最低限必要とされ、かつ優先的に整備すべきICT環境についての整備方針を策定し、全ての教育委員会に通知（平成29年12月）
（学習者用コンピュータを3クラスに1クラス分程度整備、無線LANの普通教室への100%整備 等）
- 当該方針を踏まえた環境整備5か年計画（2018～2022年度）に基づき、単年度1,805億円の地方財政措置として財源を保障